



ななつかの風

畜産技術センターニュース

発行事務局

●広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町 584 番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

中国四国ブロック削蹄競技大会の開催

9月21、22日の2日間に渡り、広島県装削蹄師協会主催で中国四国地域の削蹄競技会が当センターの牛を使って行われました。

この開催に当たって、当センターは県北部畜産事務所と連携して、防疫体制の構築（消毒の徹底）や競技に用いる牛のクリーンアップなど数ヶ月前から綿密な計画を立て当日を迎えました。



写真のように牛もピッカピカに磨き上げられ大会に参加しました（綺麗になるとうれしい）。当センターでは年に2回は爪切りをさせていただいておりますが、この日はスピードと正確性を備えた一段上の技術による爪切りとなりました。



中国四国地域の削蹄師を対象とした、削蹄師技術向上講習会を経て、この大会で優秀な成績を収めた削蹄師は、茨城県で11月9日に開催された第59回全国牛削蹄競技大会に出場されました。

海外からの視察



10月6日（金）に東広島市にあるJICA（国際協力機構）から中南米の視察団一行が来られました。当センターでは、畜産の糞尿と汚水処理についての見学でした。

国は、メキシコ、コスタリカ、アルゼンチン、エクアドル、ポリビアなど様々ですが、排水処理の視察に日本に来られました。

一行は、8月末から日本に来られ、下水処理等の施設見学に回られているとのことでしたが、説明にあたった当センター職員の高柴さんの Buenas dias のスペイン語によるあいさつで一気に雰囲気や和んだおかげもあり、当センターでの見学はこれまでの中でも活発なディスカッションが行われたとのことでした。

帰りの際には、ポリビアの方から、ウユニ湖の塩をいただきました。ちなみに、この湖は、「奇跡の絶景」と呼ばれる塩湖で、天地が一体となる夕日の絶景ポイントでもあるそうです。Adiós



やつが今年も来た

昨年度に引き続き、今年度も、あの厄介なキイロスズメバチが軒下に居所を構えました。昨年度は本館の東側でしたが今年は西側で営巣しておりました。テレビの映りがよくないということで屋上アンテナ



の調整を行っていた時に偶然発見。今年も昨年度同様、窓からばっちり観察できるポイントで、これから1ヶ月間は目が離せなくなりそうです。今年はハチの巣が多くセンター内でも10個近く巣を発見し、その

一部は早々に退治されました。

海外視察パート2

10月19日(木)に広島大学生物生産学部に短期留学中の学部生9名がセンター業務の視察に来られました。

今年度は、タイとカンボジアからの獣医、畜産、農業、水産などを専攻している大学3年生の方々だそうです。第1回目の当日は、育種繁殖研究部の佐藤伸哉研究員の解説

による、黒毛和種の種雄牛(おす)の精液採取を見学されました。擬牝台と呼ばれる雌



牛に似せた台に雄牛を誘導し、人工膈内で精液を採取する方法を間近で体感し、そのダイナミックな動きにびっくり、引き続き同研究部の柴田愛梨研究員

の説明で採取した精液を顕微鏡で観察し、動いている精子にまたびっくり!半日という短い時間でしたが、予定時間をオーバーするほどの熱心な視察でした。ちなみに第2回目は、11月16日に経膈採卵・体外受精技術について見学予定となっています。



マッチングフォーラム現地研修会開催

10月19日(木)から、西日本農業研究センター主催で、「高品質・低コストな国産飼料生産を拡大する農業技術と品種」と題してフォーラムが開催され、その一環として20日(金)に当センターでイネ



WCS 技術実演会が開催されました。飼料イネを利用した国産の飼料作りは、イネのコメの部分(胚乳)をウシが十分消化吸収することができ

ず無駄になることや、サイレージ化した時に品質低下などが起こる大きな問題がありました。その解決に、当センターの新出昭吾センター長や飼養技術研究部の河野幸雄副部長が早くから問題意識をもって対応し、糖分含量の多い飼料イネの選定(たちすずか)、消化試験や発酵を正常化させる「畜草2号」の



開発を行った結果、今日のように長期間の保存も可能な飼料イネの利用体系が構築できたことを紹介しました。技術実演会は、業務課の神田則昭課長を中心とし半年以上も前からこの日に備えて準備がされていたものです。そのおかげもあり、他府県の技術者からも理解しやすい展示であったとの感想が多くありました。

編集ひとりごと

すっかり秋から冬へと季節は移り変わり、七塚原は朝霧にすっぽりと覆われる日が多くなりました。下界での出来事が分からなくなりたいように気を付けたいと思います。

最初の写真は、センター正門の近くにある彼岸桜です。これからしばらく咲いております。

By おがっち